



・「C3+」について

「BOUZ PRODUCTION “C3”シリーズ」は天才と呼ばれたゴルフクラブ・デザイナー竹林隆光氏により設計された“竹林ブランクス”を使って作られたロッドで、小柄な氏でも海外で記録的な巨魚を獲るために独自に設計されたブランクス群です。

「Cast (投げる)、Control (動かす)、Catch (取り込む)」という基本動作において、常にアングラーが満足を得られるロッドを作りたいという「C3」のコンセプトは、サクラ高級釣竿の持ち続けてきたロッド作りの信念と完全に一致するものでした。また、「美しいベンディングカーブの追及」と表現した「C3」に対し、「釣竿は調子が命」という当社のコンセプトも言葉は違えど、同じ方向を目指したものでした。「C3+」は、その基本コンセプトを継承しながらも、サクラ高級釣竿の培った130年のロッド作りのノウハウや、各シリーズに明確なコンセプトを“プラス”した、「SAKURA LURE DIVISION」のロッド作りの信念を表す象徴です。

「C3+」を冠する各シリーズに共通するものは「アングラーファースト」ということです。どんな最新の素材を使用するよりも、「魚を釣る道具として必要な機能」を第一優先しています。あくまで魚釣りの主人公は釣り人であり、釣竿はそれを具現化する道具にしか過ぎないですが、それだからこそ、「C3+」の各シリーズには明確なコンセプトをもたせています。

それが結果的に、多様化するルアーに柔軟に対応でき、また、あらゆる世界中のターゲットをカバーできる真の「汎用性」を持ったシリーズと構成することとなりました。

「アングラーの求める釣竿を、魚を釣るために作る」、「C3+」は、そのような「本物の道具」を目指します。



・「C3+」サクラカスタム監修について

昨今サクラマシーンではPEラインの使用率が高くなってきているが、PE専用ロッドとなるとごく一部のモデルしか存在していない。この度サクラ高級釣竿製造所からロッド監修の機会を頂き、ならばPE専用ロッドの製作に踏み切った。サクラ高級釣竿製造所と言えば知る人ぞ知る創業130年の老舗だ。グラス・カーボン・ポロンのコンポジットも得意とするところだが、マテリアルの知識・経験値から作り上げる調子は国内最高峰なのは言うまでもないところだ。ロッドの製作にあたり、まず気にしたのはキャストフィールだった。飛距離・アキュラシーは当然のことながら、一番気にしたのはキャストの気持ちよさ。夜明けと共に繰り返されるこのロッドのキャストフィールはこの釣りを少し楽しくしてくれるはずだ。調子をややスロー気味にセッティング。普通に考えればロッドをスローアクションにするとロッドの操作性が鈍くなると思われるだろうが、そこは老舗のノウハウで納得のロッドアクションによりルアー生命感を与えてくれる。

さて、なぜスローアクションなのかだが、PEラインを使うようになりその感度の恩恵で沢山の情報を伝えてくれる。流れの緩急はもとより沈み根(沈みテトラ)等の巻き返しの流れなど、時にはルアーの後ろに付く魚の存在さえも教えてくれる情報量は魚を探し、誘う上で集中力の持続にも繋がってくる。そんなPEラインだが、バイトをハジキやすい。無駄に暴れるなどキャッチ率を下げるほどだった。深いアタリを取るには、魚が違和感を感じずに反転する間を与えないといけない。

いくつものサンプルを作って頂き、ベストな調子に仕上がった。また、魚をいなすにも最適な調子で無駄に暴れる事なく常に主導権を握った安心感あるファイトができる。無駄に暴れないのでリリース派にもお薦めの1本です。

“モンスターチューン”

パワーロッドであって『誘って掛ける・狙って獲る』を実践できる。狙ったラインに乗せる、アキュラシー&ディスタンス、パワーロッドでありながら意のままに繰り出せるアクション、確実なフックアップと暴れさせないロッドワーク、それらすべての要素を可能にするのが熟練の職人による調子なのだ。それでいて従来のロッドよりもパワーを持たせています。ここが今回一番加減の難しかったかもしれない。太い流れのなかでしっかりフッキングさせて暴れさせないで3キロオーバーを獲る4キロサイズさえも視野にいたれたパワーを与えたセッティング。来るべきシーズン、このロッドで夢のサイズをあの流れから誘い出して欲しい。

九頭龍川マスター 森下映治 記

C3+ Sakura Custom 7'8" ST Monster Tune "Trick Gear" 7'8" 5-24g PE#0.6-1.5 ¥ 73,800

C3+ Sakura Custom 8'3" H Monster Tune 8'3" 7-28g PE#0.8-1.5 ¥ 73,800

